

1.南相馬ミュージアムユースの育成

今年度ははじめて地元出身の大学生の参加を得て、I COM京都大会に参加し、ミュージアムについての国際的な状況をユースに肌で感じてもらうことができた。また、京都大会に合わせて西宮市の幼稚園でのキッズキャラバンに参加し、キャラバンの運営や子どもたちの反応を実際に体験してもらえたことは、今後の活動の参考になるとともに自信にもなっていると感じた。そのことが、全国フェアや地元でのフェアへの参加にもつながった。さらに、地元の高等専門学校生がユースとして加わったことは、今後の地元出身のユースの育成につながるものと考えられる。地元高校生については、地元フェアへの参加を予定していたが、開催日に台風が到来し、参加は見送りとなった。しかし、進学後も、引き続き係りたいと表明する高校生もいたことは収穫であった。

2. 幼稚園・保育園へのキッズキャラバンの実施

地元でのキャラバン実施はならなかったが、先進事例の視察や体験、地元幼稚園との打ち合わせができたことは、実施に向けての確実な一歩となっただけでなく、博物館に対する幼稚園の期待の高さを感じることができた。

3. ミュージアムキッズフェアの開催

台風が到来し、予定していた出展ブースや大学生・高校生の参加キャンセルが相次いだが、地元大学生等の参加を得て開催することができた。悪天候の中、わざわざこのフェアを目当てにして来た参加者もあり、このフェアが、着実に市民権を得てきていると感じることができた。